

モデルカリキュラムの内容・基準

(含まれる内容・基準・要素)

講義内容（生命医科学部・薬学部薬学科）

1. 現在進行中の社会変化（第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等）に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている
※モデルカリキュラム導入1-1、導入1-6が該当

データサイエンスとは（1回目）
データサイエンスにより起きている社会での変化（3回目）
社会で活用されているデータ（4回目）
データ・AI利活用のための技術（6回目）
データ・AI利活用の最新動向（9回目）

2. 社会で活用されているデータ」や「データの活用領域は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの
※モデルカリキュラム導入1-2、導入1-3が該当

データ・AIの活用領域（5回目）
データ・AI利活用のための技術（6回目）
データ・AIの活用の現場（8回目）
データ・AI利活用の最新動向（9回目）

3. 様々なデータ利活用の現場におけるデータ利活用事例が示され、様々な適用領域（流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等）の知見と組み合わせることで価値を創出するもの
※モデルカリキュラム導入1-4、導入1-5が該当

データサイエンスとは（1回目）
データサイエンスを活用した研究の紹介（2回目）
データ・AI利活用のための技術（6回目）
データの活用とは（7回目）
データ・AIの活用の現場（8回目）

4. 活用に当たっての様々な留意事項（ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等）を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする
※モデルカリキュラム心得3-1、心得3-2が該当

データサイエンスを活用した研究の紹介（2回目）
データを守る上での留意事項（14回目）
データサイエンスとセキュリティ・全体のまとめ（15回目）

5. 実データ・実課題（学術データ等を含む）を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの
※モデルカリキュラム基礎2-1、基礎2-2、基礎2-3が該当

データを説明する（10回目）
QOL評価とデータ分析（11回目）
データ・AIを扱う上での留意事項（1）（12回目）
データ・AIを扱う上での留意事項（2）（13回目）

モデルカリキュラムの内容・基準

(含まれる内容・基準・要素)

1. 現在進行中の社会変化（第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等）に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている
※モデルカリキュラム導入1-1、導入1-6が該当

2. 社会で活用されているデータ」や「データの活用領域は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの
※モデルカリキュラム導入1-2、導入1-3が該当

3. 様々なデータ利活用の現場におけるデータ利活用事例が示され、様々な適用領域（流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等）の知見と組み合わせることで価値を創出するもの
※モデルカリキュラム導入1-4、導入1-5が該当

4. 活用に当たっての様々な留意事項（ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等）を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする
※モデルカリキュラム心得3-1、心得3-2が該当

5. 実データ・実課題（学術データ等を含む）を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの
※モデルカリキュラム基礎2-1、基礎2-2、基礎2-3が該当

講義内容（社会福祉学部・薬学部動物生命薬科学科・臨床心理学部）

データサイエンスとは、データサイエンスを活用した研究の紹介（1、2回目）
社会で起きている変化（1、3回目）
データ・AI利活用のための技術（6回目）
データ・AIの活用領域 データ・AI利活用の現場（5、8回目）

社会で起きている変化（3回目）
データ・AIの活用領域（5回目）
データ活用とは（7回目）
データ・AI利活用の現場（8回目）

データサイエンスとは（1回目）
社会で起きている変化（3回目）
データ・AIの活用領域 データ・AI利活用のための技術（5、6回目）
データ活用とは（7回目）

データ・AIを扱う上での留意事項(1)（13回目）
データサイエンスを活用した研究の紹介（2回目）
データ・AIを扱う上での留意事項(2)（14回目）
データを守る上での留意事項とまとめ（15回目）

QOL評価とデータ分析、医療分野におけるデータの活用、
学校体育におけるデータの活用、心理実験における反応時間データ
（9、10、11、12回目）